

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額：62,639,000円
 (県補助金収入：3,000,000円、事業収入：4,920,000円、
 市負担金収入：54,719,000円)
- 支出決算額：62,197,362円

2 事業の成果

- ◆ **受注促進・販路開拓支援事業**：県外企業訪問と展示会出展を中心に地域企業の販路開拓を行った結果、引き合い件数 558 件のうち、進行中の商談を除いて 50 件の成約があった。
 多品種、小ロット案件の成約が多い中、機械部品の量産や専用機などの引き合い案件が成約につながった。
 また、技術系展示会への地域企業との共同出展によって、機械装置部品、金型部品、建設機械部品、各種部品加工など継続が見込まれる引き合い案件が成約した。
- ◆ **海外販路開拓支援事業**：地域企業との海外展示会出展を JETRO やシンガポール事務所駐在員と連携することにより出展後のフォローが強化され地域企業の受注に結び付いた。
 また、日系料理教室における燕三条製品のモニタリング、観光誘客などの営業活動を行ったことにより観光客の増加につながった。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業（担当：企業支援課）

(収入決算額：44,125,000円、支出決算額：44,124,064円)

① 地域外企業訪問による受注促進

関東圏を中心とした機械装置/環境関連機器、家電、建築資材などのメーカーや商品企画会社を訪問し、燕三条地域企業の加工技術をPRしながら地域企業への受注促進活動を行った。訪問先では製品開発や購買担当のキーマンと面談して地域企業を積極的にPRすることによって、新規受注を獲得した。

県外企業から引き合いから成約まで時間を要する案件が増えていることから、県外企業訪問を継続的に行い案件のフォローを強化し受注獲得に結びつけた。

年 度	受 注 幹 旋 (件)				引 合 件 数 小 計	各 種 相 談
	成 約	見 積 中 検 討	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
H28	50	60	443	5	558	139
H27	58	74	486	23	641	150
H26	59	76	504	20	659	105

・ 引き合いの主な分野

- 1) 工業製品の製造対応 (87件 14.5%)、2) 表面処理 (81件 13.5%)、
- 3) 機械加工 (69件 11.5%)

・ 成約の主な分野

- 1) 工業製品の製造対応 (9件 18%)、2) 機械加工 (7件 14%)、3) 表面処理 (5件 10%)
 などの順である。

○ 受発注打合せ件数

(単位：件)

年 度	地域内（市内） 企業訪問	地域外（県内） 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室打合せ	県外企業 来室打合せ
H28	743	113	154	166	211
H27	979	123	129	222	193
H26	578	148	142	134	140

② 地域内外企業への情報提供

- ・ 産業振興部の登録企業約 650 社を対象として展示会共同出展企業の募集案内やセミナー開催案内、半期ごとの受注動向などを FAX で配信した。（リサーチコア通信、全 7 回発行）
- ・ 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等（約 1,500 人）へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。県外企業担当者からはメールをきっかけに問い合わせがあるなど、燕三条の情報を継続的に発信することで引き合い案件が増加しつつある。

③ 燕三条地域企業との技術系展示会への共同出展による受注促進

新規受注獲得を目指して東京、大阪で開催された機械系展示会へ地域企業と共同出展した。展示会では、各企業固有の加工技術や部品が多数紹介され、来場者と多くの商談が行われた。共同出展企業における引き合い案件には、開発中の案件や量産に向けて評価中など商談継続案件が含まれているためフォローを進めている。

名称（会場）	開催期間 （共同出展数）	H28 来場者数 (H27) (H26)	H28 引合件数 (H27) (H26)	H28 成約件数 (H27) (H26)
第 20 回機械要素技術展 （東京ビッグサイト）	H28. 6. 22～24 (23 社)	87,469 人 (81,469 人) (80,608 人)	194 件 (220) 〈24 社〉 (181) 〈24 社〉	25 件 (18) 〈24 社〉 (28) 〈24 社〉
第 19 回 関西機械要素技術展 （インテックス大阪）	H28. 10. 5～7 (7 社)	48,169 人 (42,216 人) (36,939 人)	64 件 (55) 〈9 社〉 (96) 〈9 社〉	4 件 (13) 〈9 社〉 (9) 〈9 社〉

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計。

④ 「燕三条 工場の祭典」の開催

「燕三条 工場の祭典」実行委員会の主催により、各種の金属製品を製造している燕三条地域の工場が製造現場を一斉に解放し、一般の方々がおものづくりを見学・体験できるイベントを開催した。イベントでは参加企業による工夫を凝らした演出によって工場の魅力が最大限に発揮され、日本全国から多くのお客様が来場した。また、海外からもお客様が来場し、地域企業のものづくりを見学・体験いただいた。

- ・ 開催日：平成 28 年 10 月 6 日（木）～ 9 日（日）（4 日間）
（H27 年度：平成 27 年 10 月 1 日（木）～ 4 日（日）～（4 日間）
- ・ 参加企業：96 社・団体（H27 年度：68 社・団体）
- ・ 来場者数：35,143 人（H27 年度：19,312 人）

(2) 海外販路開拓支援事業（担当：企業支援課）

（収入決算額：18,514,000円、支出決算額：18,073,298円）

① 海外展開推進会議の開催

○第7回 平成28年6月29日(水) 13:30～15:30（委員9人、オブザーバー5人）

- ・海外市場への販路開拓の取り組み状況について
- ・各事業を効果的に進めるための課題等について意見交換
- ・マレーシア調査ミッション報告会（公開報告会：参加者33人）

② 海外販路開拓に関する専門セミナー等の開催

1) 貿易実務セミナー（JETRO 共催）

- ・日 時：平成28年7月20日(水)～21日(木) 10:00～17:00
- ・会 場：燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）
- ・講 師：JETRO 認定貿易アドバイザー試験合格者 前田 直明 氏
- ・参加者：40人

2) 海外販路開拓セミナー

第1部 『英語版 Web サイトの構築と運営・海外向けインターネット通販の実施ポイント』

- ・日 時：平成28年11月8日(火) 13:00～18:00
- ・会 場：燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）
- ・講 師：(独)中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー 山本 雅暁 氏
- ・参加者：26名

第2部 『海外販路開拓のポイント』

- ・日 時：平成28年12月12日(月) 13:00～18:00
- ・会 場：燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）
- ・講 師：(独)中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー 山本 雅暁 氏
- ・参加者：29名

③ シンガポール共同事務所の活用

共同事務所駐在員と連携して日本食レストラン、日系小売店や卸売業者などに燕三条の日用金属製品、工業製品などの営業活動、現地展示会出展後のフォローと誘客活動を行った。また、日系料理教室における燕三条製品のモニタリングを共同事務所とともに開催することで、料理教室の生徒に燕三条製品のイメージ定着を図った。

シンガポールでの継続的な営業活動により、現地への燕三条製品の輸出実績及び現地から燕三条への観光客が増加した。

④ 展示会への出展

○「NOOK ASIA」（シンガポール）

開催見送りとなったメゾン・エ・オブジェ・アジアの代替として出展。ASEAN 最大規模の家具・インテリア製品の見本市で、燕三条地域企業との共同出展によって新規販路開拓支援を行った。

- ・会 期：平成29年3月9日(木)～12日(日)（4日間）
- ・会 場：シンガポール EXPO
- ・来場者数及び出展者数：21,966人、428社
- ・共同出展企業：4社
- ・引き合い件数：178件(H27:190件)

⑤ 海外バイヤー招へい商談会の開催(JETRO 共催事業)

海外バイヤーとのビジネスマッチングを行うため、ジェトロ新潟、燕市、三条市、地場産センターの共催により、アジア、北米、EU からバイヤー等を招へいし、地域企業個別訪問型の商談会を開催した。商談会での成約見込額は約 1,400 万円であるが、製品の販売だけでなく海外企業と燕三条地域企業とのコラボレーションが進みつつある。

- ・期 間：平成 28 年 10 月 25 日(火)～27 日(木)
- ・会 場：燕三条地場産センター及び参加企業
- ・招待者：9 社 10 名
- ・参加数：25 社

⑥ シンガポールでの燕三条製品のモニタリング

シンガポールにおける燕三条製品の PR と販売促進を行うため、日系料理教室で燕三条製品のモニタリングを行った。モニタリングでは、会員の燕三条製品に対する意見の収集とテスト販売を実施した。会員から約 370 件の意見が集まり、参加企業へフィードバックすることによって製品開発や販路開拓に役立てていただくことが可能となった。現地では SNS による口コミが販売促進に大きな影響力を持つため、消費者に燕三条製品のイメージ定着を図ることで B2B につなげていくこととする。

- ・開催期間：平成 29 年 1 月 16 日(月)～3 月 15 日(水)
- ・会 場：ABC Cooking Studio Singapore
- ・参加企業：9 社

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：47,499,247円

(その他補助金収入：600,000円、事業収入：8,855,247円、
市負担金収入：38,044,000円)

○ 支出決算額：46,330,536円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業**:ものづくり革新会議を立ち上げ、当地域の今後の技術開発テーマ探索を進めるとともに、3Dプリンター造形品への研磨等の表面処理技術や、刃(カッティングエッジ)の評価技術など、当地域企業の技術高度化を目的に活動を進めた。ものづくり革新会議3分科会と4テーマ専門研究会とで、地域企業から66人(54社)が参加し、最新情報や研究結果の提供を行った。
- ◆ **技術開発総合支援事業**:当地域企業からの各種技術相談(知的所有権、材料、熱処理、溶接、生産管理など)に対し、当センター技術職員や企業OBなどの専門家と連携し課題解決を進めた。
- ◆ **燕三条ものづくりメッセ開催事業**:日本海側最大級のビジネスマッチングのための展示商談会として、第3回となる「燕三条ものづくりメッセ2016」を開催した。241社・団体が出展し全国から8,651名の来場者とともに、終了後の成約件数も97件と過去最大となって十分な成果を得ることができた。

3 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：4,880,576円、支出決算額：4,655,811円)

① 3Dプリンター活用技術研究会

3Dプリンターを当地域の開発に上手く適用するため、造形品の高品位化を目的とした研磨などの表面処理技術を地域企業とともに開発し、評価を行った。また樹脂と金属との複合化技術の基礎実験を進めるとともに、金属系3Dプリンター技術などの最新技術情報の提供などを行った。

- ・ 期間(回数)：平成28年4月～平成29年3月(5回実施)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 機械系 教授 南口 誠 氏
- ・ 参加者：16人(15社)

② エッジ形成と評価技術研究会

各種刃物のカッティングエッジ(刃先)形状と切断メカニズムの関係を明らかにすることを目的に、昨年度開発した切断力の定量的評価装置を用いて包丁、鋏やニッパーなどの各種刃物の切断力特性の評価を進めた。本年度はニッパー状刃物に着目し、刃の形状の違いによる切断特性を評価し、シミュレーションとの比較から、形状と切断力挙動の関係性について検討した。

- ・ 期間(回数)：平成28年6月～平成29年3月(5回実施、うち1回は先進企業見学会)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 機械系 教授 永澤 茂 氏
- ・ 参加者：15人(12社)

③ 溶接・接合技術研究会（新規）

地域企業の溶接技術の向上を目的に、先進事例の紹介として自動車や鉄鋼メーカーの先進企業の溶接事例やレーザー、抵抗溶接機の最新機器などの情報提供を行った。また地域企業からの要望をもとにした、軟鋼とアルミニウム合金の異種材スポット溶接の共同研究では、品質工学を用いて適正条件の探索を行い、その溶接メカニズムも評価した。

- ・ 期間(回数)：平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月(5 回実施、うち 1 回は先進企業見学会)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 機械系 准教授 宮下 幸雄 氏
- ・ 参加者：15 人(13 社)

④ 表面処理技術研究会（新規）

当地域の基盤技術のひとつであるめっきや酸化処理等の各種表面処理について、最新のめっき、溶射、蒸着処理技術や評価技術、排水管理技術等の情報提供を行った。また表面処理メーカーの共通課題である前処理技術や計測評価技術の課題調査も行った。

- ・ 期間(回数)：平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月(5 回実施)
- ・ 指導者：研究会ごとにメーカー技術者などに依頼
- ・ 参加者：11 人(11 社)

⑤ 「ものづくり革新会議」の創設（新規）

燕三条地域の次世代に中核となるものづくりを構築するため、大学や他地域企業等とも連携し、情報提供や意見交換を進めて方向付けを行う「ものづくり革新会議」を立ち上げた。3 分科会で会員企業の共通課題を抽出し、テーマを決めて話題提供の講演や意見交換を行った。

例えば設計・デザイン分科会では、機能性の評価やデザインと機能の両立などの課題が複数の参加企業より提起され、解決への方向付けを進めた。

- ・ 期間(回数)：平成 28 年 8 月～平成 29 年 3 月
(推進委員会 1 回、シンポジウム 1 回、分科会は各 3 回実施)
- ・ 指導者
推進委員会委員長：長岡技術科学大学 元学長 小島 陽 氏
加工分科会指導者：関西大学 名誉教授・評議員 北嶋 弘一 氏
材料分科会指導者：長岡技術科学大学 理事・副学長 鎌土 重晴 氏
設計・デザイン分科会指導者：新潟大学 地域創生推進機構 教授 尾田 雅文 氏
- ・ 参加者：34 人(28 社)

(2) 技術開発総合支援事業（担当：技術開発課）

(収入決算額：3,560,671 円、支出決算額：3,197,717 円)

① 知的所有権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月 1 回の個別相談会を実施した。制度に関する基本的な相談や自社の知財戦略に関する相談が多いが、近年は海外出願や海外での模倣に関する相談数も増加している。

- ・ 指導者：ジーベック国際特許事務所 所長 清水 善廣 氏、弁理士 小松 悠有子 氏
- ・ 相談件数：39 件 (27 社)

出願に繋がったもの：7 件（実用新案 1 件、意匠 4 件、商標 2 件）

② 技術専門家派遣

地域企業からのメカニズムの設計や熱処理、表面処理等に関する相談に対して、企業 OB などの専門家を直接企業に派遣し、解決に対するアドバイスをを行い、フォローを進めた。

- ・ 派遣回数：11 回（指導者：6 人、対象企業：9 社）

③ 職員による技術相談

燕三条地域の企業からの溶接、表面処理などの加工技術や、腐食などのトラブル相談に対して、センター技術職員が解決策を提案した。

- ・ 相談件数：58 件（35 社）

④ 機器利用促進

【機械設備利用状況】

名 称	H28 年度	H27 年度	H26 年度
3D 測定レーザー顕微鏡	32	22	10
多関節型 3 次元デジタイザー	21	24	24
蛍光 X 線分析装置	99	51	39
走査型電子顕微鏡	12	7	6
レーザーマーカ	45	36	75
デジタルマイクロスコープ	13	14	8
3 次元デジタイジング装置	21	13	22
FEM シミュレーションシステム	0	1	0
3 次元デザイン CAD システム	38	36	44
高速度デジタルビデオカメラ	0	14	7
万能塑性加工試験機	1	5	2
HIP 装置（熱間等方圧加圧装置）	2	62	49
3D プリンター	38	10	13
合 計	322	295	299

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業（担当：技術開発課）

（収入決算額：39,058,000 円、支出決算額：38,477,008 円）

「燕三条ものづくりメッセ 2016」

3 回目の開催となる今回は、燕三条地域のものづくり系企業 125 社を中心に、全国各地域の企業が開発した新製品、技術、サービスなどを一堂に展示紹介する日本海側最大級の展示・商談会として開催した。本年は東京都・東京商工会議所の特別協力を得て都内企業 14 社の共同出展とともに、発注側都内企業 29 社による商談会も開催し、ビジネスマッチングを目的とした展示会として実績を積むことが出来た。

- ・ 会期：平成 28 年 10 月 27 日（木）～28 日（金）（2 日間）

（27 日：10:00～17:00、28 日：10:00～16:00）

- ・ 出 展 者：241 社・団体（小間数 271 ブース）

- ・ 来 場 者：8,651 名

（10 月 27 日（木）：晴れ 5,059 名、10 月 28 日（金）：曇りのち雨 3,592 名）

- ・ 引合件数：2,378 件（件数は、展示会終了時のアンケート結果による）

- ・ 成約件数：97 件（同上）

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

○収入決算額：46,090,131円

(事業収入：1,352,400円、市負担金：31,359,160円、
繰越金：13,378,571円)

○支出決算額：39,517,460円

2 事業の成果

- ◆ **燕三条ブランド発信事業**：燕三条ブランド推進の基礎となる燕三条プライドプロジェクトの各種事業支援・実施のほか、「燕三条 産業観光の日」の開催や燕三条 Wing の運用、首都圏での燕三条製品の展示や使用体験ができる場の整備などを通し、「産業観光」の取組の推進と「ものづくりのまち燕三条」のPRの促進を図った。
また、インバウンド促進にむけ、現地旅行社へのセールスや観光プレゼンテーションの実施、イベントへの出展など地域資源をPRして、海外からの旅行者拡大につなげた。
- ◆ **燕三条ブランド強化事業**：海外在住のコーディネータや地域に精通したコーディネータ、シェフ、デザイナーなどとともに、国内外それぞれのマーケットに訴求する商品開発を行うワークショップを開催し、地域資源の強化を図った。
また、国内外のデザイン賞取得への支援や受賞製品の展示などにより、ブランド力強化を推進した。

3 実施事業

(1) 燕三条ブランド発信事業

(収入決算額：40,323,331円、支出決算額：33,982,685円)

①シンガポール向けインバウンド促進事業の実施

1) 燕三条インバウンド誘客推進

- ・日時：平成28年8月18日(木)～21日(日)
- ・訪問先：インターコンチネンタルシンガポールなど
- ・内容：シンガポール富裕者向けの燕三条旅行セミナーの開催や関係先への表敬訪問
- ・セミナー集客：約60人

2) メディアファムトリップの実施

- ・日程：平成28年9月4日(日)～10日(土) ※うち燕三条滞在は5日、6日
- ・受入先：市内9施設など
- ・内容：現地メディア掲載のための取材ツアー
- ・招聘数：5社5名

3) SJ50まつり～日本とシンガポールの国交樹立50周年記念祭～への出展

- ・日時：平成28年10月29日(土)～30日(日) 10:00～20:00
- ・会場：シンガポール、ニューアンシティ シビックプラザ屋外広場
- ・内容：2016年の日本とシンガポールの国交樹立50周年を記念し、さらなる両国の友好促進、相互理解を目的に、両国民の交流の場を創出した。

4) 旅行社へのセールスコール

- ・日時：平成29年1月15日(日)～18日(水)
- ・訪問先：シンガポール現地旅行社7社
- ・内容：シンガポールの旅行社を訪問し、燕三条の魅力の発信を行うとともに、旅行商品の造成を促した。(ツアー造成3社)

5) 燕三条旅行セミナー

- ・日時：平成 29 年 2 月 25 日(土)
- ・会場：タワークラブシンガポール及びフラトンホテルシンガポール
- ・内容：燕三条のものづくりの魅力を発信し、燕三条への旅行のきっかけづくりを行った。
- ・参加者数：114 名

② 外国人旅行者向け英語版マップの作成

個人旅行者が増加する中、外国人旅行者が公共交通を利用して自力で移動する手段を案内する事を主目的とした英語版マップを作成した。「オープンファクトリーマップ」掲載企業をメインに、地域の観光情報も掲載した。

③ 「燕三条 産業観光の日」イベントの実施

平成 27 年度に開催した「全国産業観光フォーラム in 燕三条」を契機に、「産業観光」に対する意識を広め定着を図ることを目的に、プライドプロジェクトに携わるメンバーを中心にその活動を発表する場として開催した。

- ・開催日：10 月 1 日(土) 参加者 36 名

④ 燕三条 Wing の活用

- ・燕三条 Wing の状況

来館者数等

区 分	H28	H27	対 比
来館者数 (人)	94,000 (7,833/月)	95,600 (7,966/月)	0.98
売上金額 (千円)	75,400 (6,283/月)	70,100 (5,841/月)	1.07

- ・観光コンシェルジュへの照会状況

平成 28 年度合計 358 件 (平成 27 年度 419 件)

*分野別対応件数

照会分野	H28	H27
交 通	100	72
食	61	110
買 物	44	53
工場見学	19	22
宿 泊	15	12
待ち時間	14	48
自 然	9	8

照会分野	H28	H27
温 泉	7	9
体 験	6	5
寺 社	6	4
資料館	5	6
まちあるき	4	15
歴 史	3	3
その他	65	52

*月別対応件数

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
H28	29	46	21	23	25	20	48	54	32	28	20	12
H27	44	53	44	35	35	38	44	45	15	31	16	19

・Wing イベントの開催

開催日	内 容	参加人数
H28. 4. 16(土)	「シルクフラワートピアリー」	16 人
H28. 5. 5 (木・祝)	「木の葉の箸置き作り」	6 人
H28. 6. 26 (日)	「イヤーカーフ」	12 人
H28. 7. 23(土)	「ミニミニ神輿を作ろう！」	11 人
H28. 8. 15(月)～ 16(火)	「小枝のワークショップ」	19 人
H28. 9. 11(日)	「金箔貼り体験」	13 人
H28. 10. 8 (土)	「包丁試し切り体験」	約 25 人
H28. 11. 20(日)	「お米 Night in 燕三条 Wing」	約 100 人
H28. 12. 18(日)	「ハンドメイドマーケット」	ワークショップ 25 人
H29. 1. 22(日)	「和紙でイヤークセサリー作り」	21 人
H29. 2. 19(日)	「天神講絵付け体験」	19 人
H29. 3. 12(日)	「おいらん衣装を羽織ってみよう！」	約 25 人

⑤ 各種プロジェクト事業の支援

1) プロダクトグループ

開発テーマを「ソムリエナイフ」とし、燕三条の技術を使い地域の歴史を込めたものとして、嗜好品、プロ用のアイテム開発を進めた。

- ・開発品：ソムリエナイフ、ケース、商品パッケージ
- ・各部品の製作に向けて、燕三条地域企業2社を訪問
(日用品線材加工、ステンレスロストワックス)

2) レストラングループ

○燕三条「畑の朝カフェ」の開催

燕三条地域の多種多様な農産物を、生産現場と生産者の魅力もあわせて広く知ってもらう体験型カフェを実施した。

開催日	開催会場	参加人数	備考
H28. 5. 28(土)～29(日)	ハーベスト：燕市	16 人	ルッコラのピザ焼き体験
H28. 6. 19 日(日)	FUJI-HOUSE：三条市(新規)	14 人	駒込の暮らし体験
H28. 7. 24 日(日)	フラワー華蓮：燕市(新規)	20 人	鉢の植え替え作業体験 象鼻杯体験
H28. 9. 18 日(日)	渡辺果樹園：三条市	45 名	グリーンスムージー作り体験
H29. 2. 19 日(日)	内山農園：三条市	22 名	小松菜や燕など野菜の収穫体験

○燕三条「畑の朝カフェ」5周年祭の開催より多くの方に朝カフェの雰囲気を感じていただくことを目的に、申込者全員が参加できるスタイルで開催。朝カフェ参加農家が一堂に会し、参加者と交流した。

- ・開催日：平成 28 年 8 月 21 日(日)
- ・会 場：岡村葡萄園 約 5,000 平方メートルのぶどうハウス (新潟市西蒲区)
- ・参加人数：207 名

- ・内 容：農産物の直売・試食、グリーンスムージー、サンドイッチ等の販売
スタンプラリーによる「朝カフェブックレット」プレゼント
燕三条「畑の朝カフェ」～5年間の軌跡～ パネル展
トークセッション
ぶどう畑を巡るツアー

○地域の食を活かしたブランド化に係わる講演会の実施

- ・開催日：平成29年2月1日(水)
- ・講 師：(株)自遊人 代表取締役 岩佐 十良 氏
- ・参加者：32人

3) ツーリズムグループ

○燕三条まちあるき事業

地元ナビゲータと一緒に「燕三条」の魅力に触れる「燕三条まちあるき」の主催団体としてコース企画の取りまとめなど、イベント運営の総括を行った。

《2016 春》

- ・開催期間：平成28年4月9日(土)～5月29日(日)
- ・コース数：19コース
- ・参加延人数：255人

《2016 秋》

- 開催期間：平成28年10月1日(土)～11月13日(日)
- コース数：15コース
- 参加延人数：139人

○燕三条グリーンツーリズム事業の推進

燕三条エリアで自然体験等の活動に取り組んでいる団体のイベントを取りまとめたパンフレットを作成し、地域の小学校全児童(36校 8,990人)に配布するなど情報発信を行った。

22団体、56イベント、20,000部 (H27：18団体、45イベント、20,000部)

4) プロモーショングループ

○ブランキングアート展2016の企画・運営

- ・出品数：27作品
- ・会 場：燕三条Wing、リサーチコア3F デザインギャラリー
- ・期 間：平成28年9月1日(木)～11月30日(水)
- ・来場者：延べ約3,000人(うち、スタンプラリー参加者211人)
- ・その他：ブランキングアート2014.2015巡回展

榎諏訪田製作所：平成28年4月6日(水)～6月10日(金)

済生会三条病院：平成28年4月21日(木)～5月10日(火)

富永草野病院：平成28年5月11日(水)～6月10日(金)

アンドオン三条ベース：平成28年6月10日(金)～8月31日(水)

燕市産業史料館にて2015年度作品と2016年度作品を合同巡回展示

：平成28年12月2日(金)～平成29年3月31日(金)

○「燕三条こうばのじてん第3版」発刊 2,000部作成

5) 海外展示会への出展

ドイツ・フランクフルトで開催された「アンビエンテ 2017」に出展。公募共同出展企業 5 社と各種デザイン賞受賞商品企業 18 社の計 23 社の商品を展示し、販路開拓と地域ブランドの PR を行った。

- ・会 期：平成 29 年 2 月 10 日(金)～14 日(火)
- ・来場者：142,000 人 (154 カ国)
- ・実 績：商談件数：65 社/者 (25 カ国)、289 件
成約件数：6 件、12,076 千円
成約見込数：7 件、45,000 千円
商談継続：8 件

⑥ デザインギャラリーの運用

- ・海外販路開拓に取り組んでいる商品を展示
- ・燕三条地域のグッドデザイン賞受賞商品の展示
- ・ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2016 受賞商品の展示
- ・ブランキングアート展 2016 一部出展品の展示

⑦ 燕三条の資源 PR と体感する場所の整備

首都圏で燕三条物品の展示だけでなく食器類の使用体験もできる場を整備した。
(燕三条イタリアン Bit 銀座店内、平成 28 年 10 月 3 日(月)グランドオープン)

- ・来 客 数：5,346 人
- ・問合せ件数：1,888 件 (店頭での燕三条製品・食材・観光等)
- ・メディア掲載：TV 4、ラジオ 7、新聞 15

(2) 燕三条ブランド強化事業

(収入決算額：5,766,800 円、支出決算額：5,534,775 円)

① 欧州マーケットに向けたブランド力強化

欧州のライフスタイル・ニーズに対応した商品開発を行うため、ドイツ在住のコーディネータによる商品開発ワークショップを実施、製作した商品はアンビエンテで展示した。

- ・実施日：全 5 回
- ・アドバイザー：(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長 鈴木 里美 氏
- ・参加企業：2 社
- ・報告会：平成 29 年 3 月 2 日(木)

② 地域資源を活用した商品開発の実施

地域に精通したコーディネータ、シェフ、デザイナーと地域企業による開発プロジェクトを実施した。

- ・ワークショップ開催：6 回
- ・参加企業：5 社
- ・成 果：ワークショップで 8 アイテムを試作。内、5 点が商品化、3 点は業務用小ロット特注品対応のサンプルとして、首都圏の飲食店に設置。

③ 国内・海外デザイン賞取得支援

1) 応募説明会の開催

グッドデザイン賞及び世界的に評価の高い「iF デザイン賞」や「アジアデザイン賞」の概要、申請方法等を紹介する応募説明会を開催した。

- ・開催日：平成 28 年 5 月 10 日(火)
- ・説明：公益財団法人日本デザイン振興会 川口 真沙美 氏 (グッドデザイン賞)
iF デザイン賞、アジアデザイン賞 日本事務局 高田 昭代 氏
- ・特別講演：(株)自遊人 代表取締役 岩佐 十良 氏
- ・参加者：31 人

2) 燕三条地域プレゼンテーションの開催

2016 年度燕三条地域でデザイン賞を受賞した 16 点 (12 社) すべてのプレゼンテーションを行った。

- ・開催日：平成 28 年 12 月 12 日(月)
- ・特別講演：(株)プレーン 代表取締役 渡辺 弘明 氏
- ・参加者：80 人 (プレゼンター含む)

3) 首都圏での G マーク受賞品 PR 展示

2016 年度受賞した 16 点 (12 社) を中心に、計 54 点の受賞品を展示、地域 PR を行った。

- ・開催日：平成 28 年 12 月 16 日(金)～12 月 25 日(日)
- ・会 場：GOOD DESIGN Marunouchi
- ・来場者：6,783 人

④ 燕三条ブランド推進会議等の開催

1) 燕三条ブランド推進会議(1回)

2) コーディネータ・事務局会議(2回)

3) プライドプロジェクト会議 開催回数

グループ名 (人数)	会議等 (回)
プロダクト (20)	5
レストラン (17)	16
ツーリズム (24)	15
プロモーション+JR 燕三条駅 Pro (11)	7
合 計 (72)	43

⑤ 商品企画・デザイン個別相談の実施

- ・相談件数：16 件 (16 社)、22 回

⑥ 地域デザイン団体活動支援

- ・燕三条デザイン研究会 (会員：60 人、全体例会 4 回、グループ例会 17 回)
- ・つばめデザイン研究会 (会員：7 人、全体例会 2 回)

【4】 企業人材育成事業

1 収支決算額

- 収入決算額：11,598,327円
(事業収入：4,172,327円、市負担金：7,426,000円)
- 支出決算額：10,607,646円

2 事業の成果

- ◆ **燕三条ものづくり大学事業(技術研修)**: 当地域企業の製造及び開発現場での技術力向上を目的に、製図や金属材料などの技術基礎講座、熱処理など各専門分野に特化した集中講座を、地域の各支援機関と連携しながら実施した。本年度は新人社員向けの図面と材料に関する集中講座を開講し、地域ニーズに応えるとともに、他の講座でも募集定員を上回る参加者があり、各企業の技術者養成ニーズに対応した。
- ◆ **経営力強化支援事業**: 地域企業の営業力向上、IT を活用した業務の効率化を促進するため、セミナーや専門家派遣事業を実施した。これらのセミナーを開催することによって、地域企業の事務処理の効率化やセールス・プロモーションの活性化を促進した。

3 実施事業

(1) 燕三条ものづくり大学事業 (技術研修) (担当：技術開発課)

(収入決算額：3,287,000円、支出決算額：2,297,182円)

地域企業の製造・開発部門に必要な金属材料、図面の見方などの基礎技術、並びに溶接、プレス加工などの専門技術の講習会を開催した。また②金属材料、⑦表面処理では、希望者に対して測定実習も行った。

研修講座名	期間 (時間×回数)	募集 (人)	実績 (人)
①図面の見方と金属材料と加工基礎講座	H28. 4. 25～4. 27 (6h×3回)	24	29
②金属材料基礎講座	H28. 5. 17～8. 2 (2h×12回)	20	21
③図面の見方・描き方入門講座	H28. 8. 18～9. 15 (2h×9回)	20	28
④製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	H28. 6. 15～7. 13 (2h×5回)	15	16
⑤溶接技術集中講座	H28. 7. 4～7. 5 (3h×3回)	15	19
⑥プレス加工集中講座	H28. 11. 10～12. 1 (3h×4回)	15	24
⑦表面処理集中講座	H29. 1. 17～1. 31 (3h×3回)	15	23
⑧熱処理技術集中講座	H28. 9. 19～10. 13 (3h×3回)	15	15
⑨知財活用技術講座	H29. 2. 3～2. 13 (2h×3回)	10	11
⑩テクニカルプレゼンテーション力強化講座	H28. 11. 17～12. 9 (3h×4回)	10	6
合 計	(全 10 コース・49 回・127 時間)	159	192

(2) 経営力強化支援事業（担当：企業支援課）

（収入決算額：8,311,327円、支出決算額：8,310,464円）

① 企業向け情報・経営研修会の開催（燕三条ものづくり大学）

ITの活用による業務の効率化と自社商品の販売促進を効果的に行うためのセミナーや、営業先企業のマーケティングを強化することで営業力を底上げする方法を学ぶセミナーを開催した。

〈情報系〉

研修講座名	期間（時間×回数）	募集（人）	実績（人）
エクセル活用講座①② （仕事の効率を上げる Excel 活用講座）	H28. 5. 19～6. 2 （2h×5回） H28. 11. 14～11. 24 （2h×5回）	10 10	7 9
ネット販売のための商品撮影講座	H28. 10. 13～10. 15 （2h×3回）	10	10
初心者のための Adobe Illustrator 講座	H28. 12. 6～12. 13 （2h×3回）	8	8
画像処理入門講座	H29. 1. 30～2. 2 （2h×3回）	10	9

〈経営系〉

研修講座名	期間（時間×回数）	募集（人）	実績（人）
若手社員のコスト意識の育成講座	H28. 7. 12～7. 25 （2h×3回）	10	19
営業力強化セミナー	H28. 6. 16～7. 13 （2h×3回）	15	15
顧客満足度向上セミナー	H28. 8. 31～9. 2 （2h×3回）	10	4

② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業が抱える経営上の課題や IT を活用した社内事務作業の効率化、WEB 上で販売促進する際に発生した各種の課題を解決するため、専門家を企業へ派遣して課題解決に向けたアドバイスをを行った。

・相談件数：6件、派遣指導者：5人

③ 戦略的事業創出プロジェクト

地域企業の新事業立ち上げを支援するため、専門家を派遣した。これにより、地域企業の医療機器製造業許可・登録が可能となった。

・参画企業：2社、指導回数13回

④ 広報活動の強化

最新の企業支援情報をホームページ及びメールマガジン（月2回）で発信したほか、産業振興部事業のPRとリサーチコアの利用促進のためリサーチコアレポートを発行した。

1) ビジネス情報の提供

センターHPに企業向け支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

・ビジネス情報掲載件数：328件

2) メールマガジンの発行

・毎月2回（年間24回）配信

・掲載情報件数：255件

・3月末メルマガ配信登録者数：705件

3) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年3回)

第11号(9月)、第12号(12月)、第13号(3月)

⑤ WEB 情報システム(企業データベース)のリニューアル

WEBに公開している燕三条地域企業データベースのリニューアルを行った。地域外企業などが企業データベースを利用する際の利便性が向上し、リニューアル前と比較して約6%増の月平均6,272件のアクセスがあった。

⑥ ホームページ・フリースポットの管理・運営

ホームページから地場産センターで行われる事業の最新情報を継続的に発信した結果、月平均で約37,000件のアクセスがあった。

⑦ 情報関連機器の維持管理他

業務が円滑に遂行できるよう、各種サーバやIT機器のメンテナンスとバックアップなどを行った。

・情報研修室OA機器、研修用ビデオの貸出し状況

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備考
パソコン	2件	85,327円	情報研修室、貸出し用PC
研修用ビデオ・DVD	130件	無料	

【5】 需要開拓事業

1. 収支決算額

○収入決算額：443,746,618円

(事業収入：440,746,618円、市負担金：3,000,000円)

○支出決算額：380,723,831円

2. 事業の成果

◆ **展示・即売事業**：企業商品等の出品による展示ケースを刷新し、「燕三条」を効果的にPRする場にするるとともに、物産館では消費者ニーズに合わせた話題性のある販売品目の拡充を行った。また、イベントの開催や関係団体と連携した事業への参加を通して、県内外の消費者に燕三条製品の良さをPRし、製品の販路拡大に努め、体験型実演などを含んだ宣伝活動やインバウンド及び産業観光を推進し、「ものづくりのまち燕三条」のPRを行った。

一方、団体バス来館は減少傾向にあるが、道の駅としての認知度向上による、シニア層を中心とした個人およびグループ客の増加により来館者が大幅に増え、売り上げの増加に繋がった。

◆ **燕三条駅観光物産センター事業**：観光情報雑誌への広告掲載の他、燕三条地域が多数のメディアに取り上げられたことも影響し、来館者及び売り上げはともに増加し、幅広い客層へ燕三条製品のPRを行うことができた。

また、JR利用の外国人観光客へ向けた、駅構内の案内看板や店内での免税店表示を設置したことにより、外国人来館者数及び売上げも増加した。

3. 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額：379,588,896円、支出決算額323,159,595円)

①収入実績

展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入
5,889,511円	363,984,375円	25,046,349円

②自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	H28.5.1～5(5日間)	約21,180人
お盆フェア	H28.8.13～16(4日間)	約11,357人
年末刃物フェア	H28.12.2～4(3日間)	約11,735人
観光バス来館	通年	約860台

③外国人来館実績

来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
1,159名	7,557,421円	286件	7,192,052円

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額：事業収入：64, 157, 722 円、支出決算額：57, 564, 236 円)

① 収入実績

展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入
2, 508, 000 円	60, 238, 924 円	1, 082, 070 円

② 自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	H28. 5. 3～5 (3 日間)	約 1, 370 人
お盆フェア	H28. 8. 13～16 (4 日間)	約 2, 171 人

③ 外国人来館実績

来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
582 名	2, 399, 288 円	161 件	1, 446, 651 円

【6】 収益事業

1. 収支決算額

○収入決算額：160,202,550円

○支出決算額：103,233,301円

2. 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業**：多彩なイベントを併設した刃物フェアや道の駅フェスタを開催し、燕三条地域外からも多くの集客を図り、県内特産品の販売も併せて行うことで、観光施設のイメージアップと燕三条製品の集約的なPRを行なった。
- ◆ **貸館事業**：新規利用者獲得のためにDM発送と見本市展示会総合ハンドブックへの広告掲載を行なうとともに、お客様とコミュニケーションを密にとり、スムーズな運営が出来るように心がけた。また、急な要望にも早急に対応するように努めた。
- ◆ **レストラン運営事業**：燕三条製のカトラリーやテーブルウェアで、地場食材の料理を提供した。その中でも燕三条を感じて頂く「選べるカトラリー」が好評を得ている。貸し切りパーティ、各種団体の昼食、車麩を使用したレストランオリジナルの「くるまふラスク」等の売上が収入増につながった。

3. 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額 36,646,859 円、支出決算額 27,156,103 円)

地域外取扱商品販売金額 31,054,103 円

他地場産センター商品販売金額 2,185,793 円

(2) 貸館事業

(収入決算額：64,361,310 円、支出決算額：14,837,609 円)

【会場利用状況】

- ・施設利用者数：185,689 名（前年度 191,315 名）
- ・施設利用状況（金額・利用率）

施設名	28年度	27年度
メッセピア	48,686,698 円	45,751,457 円
1F：多目的大ホール	25.6%	24.7%
3F：中会議室	38.4%	32.2%
4F：大会議室	32.6%	28.1%
特別会議室	1.4%	2.3%
小会議室（和室）	19.1%	21.2%
5F：総合研修室	35.9%	34.0%
ミーティングルーム	46.4%	39.2%
リサーチコア	15,293,112 円	15,187,645 円
6F：研修室	24.9%	25.5%
7F：マルチメディアホール	24.2%	23.1%

(3) レストラン運営事業

(収入決算額：59,132,677円、支出決算額：61,239,589円)

レストラン収入決算額の推移

年度	収入決算額
H28	59,132,677円
H27	49,959,232円
H26	52,669,470円